

「オンライン+集合(東京)」開催

ストラテジックSCMコース

Strategic SCM Course

後援: 経済産業省・国土交通省(以上2省 申請予定)

戦略的視点で学ぶ「最先端のSCM」

講演会・受講説明会 2024年7月29日開催の録画配信中(視聴無料)
2024年度秋期 2024年10月～2025年3月(全20回)

●講演会・受講説明会はオンライン形式にて実施予定

ストラテジックSCMコースの特徴

- 国内外の第一線で活躍する実務家、コンサルタント、学識経験者による充実した講義
- 戦略的な視点から経営科学的なアプローチも含めた国際的な水準のカリキュラム
- 各期30名の少人数制による密度の高い情報交流とグループディスカッション
- 講師陣、受講者、コースOB・OGによる日本有数のSCM人材ネットワークの形成

ストラテジックSCMコースでは我が国のSCMを担うプロフェッショナルを育成します

カリキュラムの基本的目標: SCM人材の養成

企業が社会的価値と経済的価値の創出のために、経営理念に基づく具体的な製品やサービスを、需要家に対して提供するための戦略を立案し、実行プロセス全体を企画し、管理し、運営するマネジメントをSCMと考える。

我が国の経営の強みを引き出せる戦略的SCMを実現できる人材の養成

- ① 多様な専門家の講義と演習によるSCMを理解する**基礎知識と鳥瞰的な視座**の獲得
- ② 受講者同士の交流とグループ演習による**多様性の理解と人的ネットワーク構築**

①

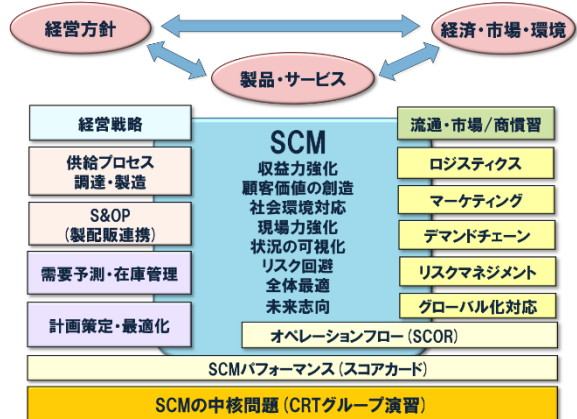
- SCMの概念と経営戦略
- 流通市場とSCM
- サプライチェーンの実行プロセス
- SCMにおける数理技術/ORの活用
- グローバル化時代におけるSCMの課題

②

- 5グループ編成
- グループによる課題演習と発表
- SSFJ活動の活動への参加・講師・修了生との交流
- 外部学会活動や国際資格等の紹介

時代の要請に則した柔軟で進取的なカリキュラムと環境の提供

SCMの課題と当学校の授業科目体系



ストラテジックSCMコース

講演会・受講説明会 録画配信のご案内

●開催形式:録画配信(参加方法はお申込後にご案内いたします)

●視聴費用:無料

この度、日本ロジスティクスシステム協会(JLIS)では、本年7月29日に開催した「ストラテジックSCMコース講演会・受講説明会」の録画動画を、希望者に対して事後聴講として配信いたします。

講演会・受講説明会では、ストラテジックSCMコースのコースコーディネーターが、コースの狙いや内容についてご説明いたします。また、SCM業務の最前線でご活躍する方に、SCMに関する最新情報などについてご講演いただきます。お申し込み後、事務局より説明会資料と視聴用URLを、登録頂いたメールアドレス宛てにお送りさせていただきます。

本コースの受講をご検討の方やSCMに関する最新動向にご興味がある方は、ぜひご活用ください。

【講演会】「SCMにおけるトレードオフの意思決定最適化」

講演概要:

SCMにおける重要な意思決定として、主に調達・生産・物流計画があります。これらの意思決定は様々なトレードオフの中で行われますが、①トレードオフの中で何をどれだけ重視するかという戦略の検討や、②検討した戦略に対し正確に則った計画立案が肝要です。

この2つを効率よく実施する技術として、数理最適化があります。数理最適化はオペレーションズ・リサーチ(OR)のツールとして様々な領域に適用されてきましたが、近年のコンピュータの性能向上やソフトウェアの発展で、より大規模な問題に、より労力をかけずに適用可能になってきています。

本講演では、SCMの様々な計画立案に対する戦略のシミュレーションツールとしての数理最適化について、基本的な考え方やオープンソースソフトウェア(OSS)による実行方法、および具体的な計画立案例をご紹介します。

講演者:

江藤 力 氏 (日本電気株式会社 データサイエンス研究所 主任研究員)

東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻修士課程修了。同大学院先端学際工学専攻博士課程単位取得退学。2012年に日本電気株式会社(NEC)入社後、機械学習、データマイニングや数理最適化の原理研究やビジネス応用に従事し、第29回先端技術大賞(フジサンケイビジネスアイ賞)受賞。日本航空宇宙学会 学生賞、人工知能学会設立30周年記念論文特集 優秀賞。京都大学大学院非常勤講師。NECの最適化事業をけん引している。

【受講説明会】

ストラテジックSCMコースのコースコーディネーターが、本コースのねらい・概要と特色を中心に、本コースの内容と受講までの流れをご説明します。

説明者(コースコーディネーター):

市川 隆一 氏 (株式会社サプライチェーン経営研究所 代表取締役社長)

法政大学大学院社会科学部経営学専攻修士課程修了。大手物流会社、(株)日本ロジスティクス研究所代表取締役社長を経て現職。多摩大学大学院経営情報学科 客員教授(2008年~2011年)。専門分野は、SCM、ロジスティクス、ダイレクト・マーケティング、流通システム。所属学会は、日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本物流学会、日本ダイレクト・マーケティング学会等。

森川 健 氏 (株式会社野村総合研究所 アーバンイノベーションコンサルティング部 プリンシパル)

東京理科大学理工学部土木工学科卒業、東京理科大学理工学研究科土木工学専攻修士課程修了、1990年(株)野村総合研究所に入社して以来、サプライチェーンやロジスティクスに関わるコンサルティング業務に携わっている。初期は国内外の港湾や空港、流通団地等の物流インフラの計画に携わることが多かったが、1990年代後半からはサプライチェーンやロジスティクスに関わる民間企業に関するコンサルティング業務に数多く関わっている。特に物流×ITや、物流×環境に焦点をおいた専門性を有している。近年はRFIDなどの可視化や物流効率化等の各種実証実験のプロジェクトに多く従事している。

申込方法

ストラテジックSCMコース 講演会・受講説明会 録画配信のお申込みにつきましては、
ストラテジックSCMコースのWebサイトにてご確認ください。

2024年度 秋期（第30期） ストラテジックSCMコース開講のご案内

会期:2024年10月4日～2025年3月7日(全20回)

SCMについての世界のランキングに、米国の調査会社 Gartner が毎年公表する Supply Chain Top 25 があります。これは 2010 年にはじまったものですが、直近の 2024 年までの間、日本企業の名前は 2014 年トヨタの 24 位の1回限りを最後に、20 世紀の“ものづくり”で世界をリードした日本企業の名前はあがってきません。なぜでしょうか…

今でも日本企業は現場の見える化や改善力は強いと思われませんが、海外ライバル企業はそれを十分学んだ上で、“モノ”から“コト”のビジネス戦略のもと DX(デジタル・トランスフォーメーション)によるサプライチェーン全体の見える化とそれに基づく顧客価値創造により、一気に勝者になる傾向があります。VUCA(Volatility, Uncertainty, Complexity, Ambiguity)とも呼ばれる現在、世界と戦いうる人材になるためには、時代背景と競争環境を踏まえた戦略的 SCM のリスクリング、学び直しが不可欠です。

本講座は、2010 年に東京工業大学を中心に集まった SCM の第一線で活躍されている企業の方々や教育研究者の議論から立ち上げられ、運営を JILS へ移管した後も SCM を取り巻く環境変化に対応して常に内容をブラッシュアップさせて参りました。今日まで広く業種や専門の枠を越えた約 700 名の修了生を送り出し、その同窓生のネットワーク、SSFJ (Strategic Supply Chain Management Forum Japan) も世界に広がっています。この輪自体も本講座の価値を構成する揺るぎない財産です。

コロナもようやく終息した一方で、Sustainability 推進の高まり、特にサプライチェーンレベルでの ESG (Environment, Society, Governance) のパフォーマンスが重要になっています。さらには米中摩擦やウクライナ侵攻に伴うサプライチェーンの混乱や資源高騰から、JIT (Just In Time) の見直しや経済安全保障の促進といった更なる SCM のパラダイムの変化も進行しています。また思わぬリスクにレジリエンス(resilience)を高めるだけでなく、それを超えて成長や進化させるしなやかな対応、反脆弱性(Antifragility)という概念まで出現して参りました。

今、これらに対応できる人材こそ、過去 30 年停滞・低下してきた日本の産業競争力や労働生産性を再び高める担い手で、その育成が喫緊に求められています。それは、「顧客価値は何かを見極めでき、それを創造する“コト”をデザインし実行するために、(顧客を含めた)パートナーと共創・リードする力」です。

講師陣と一丸となってこのような SCM 力を、講義・演習・グループ討論・発表を通して、磨き身に着けようではありませんか。

【コース代表講師】東京工業大学名誉教授 圓川 隆夫

2024年度 秋期(第30期) ストラテジックSCMコース カリキュラム

講義(20回):金曜日 19:00～21:00 課題研究発表会・修了行事: 10:30～17:30

開催形式…「オンライン」:Zoomによる実施 「集合」:日本ロジスティクスシステム協会会議室(東京)での実施

日程・形式	内容	日程・形式	内容
10/4 集合	オリエンテーション/SCMの全体像と授業科目	<サプライチェーンの実行プロセス>	
<SCMの概念と経営戦略>		1/10 集合	SCM性能の見える化 ～SCMスコアカードとSCMの課題～
10/11 オンライン	SCMと経営 その1	1/17 集合	スケジューリング、サプライチェーン、BOM
10/18 オンライン	SCMと経営 その2	1/24 オンライン	サプライチェーン経営戦略と組織能力
10/25 集合	サプライチェーンの複雑性と企業間協働の効果: SCMゲームの体験を通して	1/31 集合	S&OPで「組織の壁」を乗り越える
11/1 集合	経営戦略とビジネス・ロジスティクスの 新たな方向性について	2/7 集合	サプライチェーンの可視化・分析・改革の イネーブラー「SCOR」を学ぶ
11/8 集合	SCM実現を阻む根底問題を探る ～CRTを用いたグループワーク演習～	<SCMにおける数理技術/ORの活用>	
<流通市場とSCM>		2/14 集合	SCMにおける需要予測・在庫最適化と 生産管理方針
11/15 集合	消費財流通のチャネル戦略とSCM	2/21 集合	SCMにおけるAI・ORの活用 ～科学的手法を経営に生かす～
11/22 オンライン	ロジスティクスマネジメントとSCM部門の役割	2/28 集合	AI・ORを使った物流最適化モデルと 企業戦略への活用
11/29 オンライン	マーケティングとSCM	<総括>	
12/6 集合	サプライチェーン可視化とトレーサビリティ	3/7 集合	経営戦略とSCM、SCM改革のための チェンジマネジメント
12/13 集合	価値共創社会への変化対応とサプライチェーンの革新	<課題研究発表会・修了行事>	
※諸事情により、開催日程・形式やカリキュラム内容が変更となる場合があります。		3/15(土) 集合	課題研究発表会・修了行事

■課題研究について

課題研究として、CRT(現状問題構造ツリー)によって我が国のSCMの問題構造を明らかにするとともに、中核問題についてグループ毎に検討します。その検討結果を課題研究発表会にてご発表いただきます。

講師名	所属・役職	担当講義
圓川 隆夫	東京工業大学 名誉教授	SCMと経営 その1/SCMと経営 その2
市川 隆一	(株)サプライチェーン経営研究所 代表取締役社長	消費財流通のチャネル戦略と SCM
森川 健	(株)野村総合研究所 アーバンイノベーションコンサルティング部 プリンシパル	サプライチェーン可視化とトレーサビリティ
河合 亜矢子	学習院大学 経済学部 経営学科 教授	サプライチェーンの複雑性と企業間協働の効果
橋本 雅隆	明治大学 専門職大学院 グローバル・ビジネス研究科 専任教授	経営戦略とビジネス・ロジスティクスの新たな方向性について
鈴木 定省	横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授	SCM 実現を阻む根底問題を探る/SCM 性能の見える化
荒木 協和	神戸大学大学院 国際海事研究センター リサーチフェロー	ロジスティクスマネジメントと SCM 部門の役割
中村 潤	中央大学 国際経営学部 教授、合同会社 Space4Labo アドバイザー	マーケティングと SCM
碓井 誠	オピニオン 代表	価値共創社会への変化対応とサプライチェーンの革新
佐藤 知一	日揮ホールディングス(株) チーフエンジニア(ビジネス・アナリスト)	スケジューリング、サプライチェーン、BOM
垣見 祐二	スリーゼットコンサルティング 代表、和歌山大学経済学研究科 客員教授	サプライチェーン経営戦略と組織能力
行本 顕	Operations Management Group LLC. 代表社員、ASCM 認定インストラクター	S&OP で「組織の壁」を乗り越える
丹治 秀明	(株)日立ソリューションズ東日本 サービスイノベーション事業部 主任技師	サプライチェーンの可視化・分析・改革のイネーブラー「SCOR」を学ぶ
野本 真輔	(株)構造計画研究所 製造 DX 技術担当	SCM における需要予測・在庫最適化と生産管理方針
伊倉 義郎	(株)サイテック・ジャパン 代表取締役社長、東京工業大学 講師	SCM における AI・OR の活用/ AI・OR を使った最適化モデルと企業戦略への活用
藤野 直明	(株)野村総合研究所 シニアチーフストラテジスト	経営戦略と SCM、SCM 改革のためのチェンジマネジメント

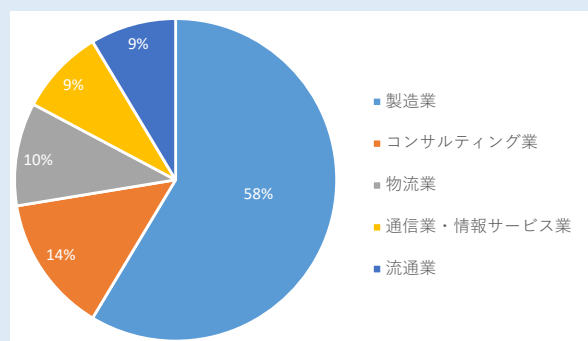
【このような方に受講をお勧めします】

戦略的 SCM の構築や改革は、経営的な視点(総合的、鳥瞰的な視点)をもって、全社的な立場から推進されなければなりません。そのためには経営トップの SCM への積極的な理解と、優れたプロジェクトリーダーの存在が不可欠です。また、情報システムのリーダーが SCM への造詣を深め、システム構築がされることも重要な要素です。

このような観点から、本コースは経営幹部の方々や、経営企画部門のスタッフの方々と共に、全社的な情報システムの企画・構築に当たられる方々にも受講していただきたいと考えています。

また、すでに企業等において、サプライチェーン、物流管理に関する業務の経験を持ち、解決すべき課題や問題意識を持っている経営者や中堅幹部社員の方々、システム部門の方々に参加いただいて、専門的な知識の習得と実務に即した能力を身につけていただきたいと考えています。

【受講者の業種比率(2023 年度)】



【受講者の声】

- 「SCM を志すさまざまな職種の方と、多様な問題意識をぶつけ合い理解を深めることができた」
- 「全体のプロセスを見て問題を認識することが、解決策を生み出し企業の成功へ導くスタート地点だということ、実務経験豊富な講師の授業とグループ課題演習での議論を通して学びました」
- 「SCM の推進に関心を持つ講師やクラスのメンバーと交流でき、コース終了後も繋がるきっかけを作れたことは最大の収穫です」

講演会・受講説明会 録画配信のご案内(無料)

■ 講演会・受講説明会 録画配信申込 ■

<https://www1.logistics.or.jp/education/BA62.html>



開催形式・費用

開催形式: 録画配信(参加方法はお申込後にご案内いたします)
視聴費用: 無料

■ □ 講演会プログラム □ ■

「SCM におけるトレードオフの意思決定最適化」

江藤 力氏

(日本電気株式会社 データサイエンス研究所 主任研究員)

ストラテジック SCM コース 受講申込

本コースにお申し込みいただくには、E-mail にて願書・志望理由書をご提出いただけます。願書・志望理由書は、原則として 7 月 29 日に開催する講演会・受講説明会後に受付を開始いたします。お申し込み方法の詳細はホームページの募集要項をご覧ください。

ストラテジック SCM

検索

定員・受講料・開催形式

定 員: 30 名

受 講 料: 198,000 円/1 名(税込)(協会会員・会員外共通)

開催形式: オンライン: Zoom、集合: JLS 会議室(東京)

※諸事情により、開催日程・形式やカリキュラム内容が変更となる場合があります。